

地方創生におけるデジタルの活用

デジタルには自動化、見える化、最適化、つながる、分かち合う「シェアリング」、個々に合わせる「パーソナライズ」など、様々な可能性があります。そのため、デジタルの活用は、人の暮らしの可能性を広げ、多様なニーズに対応でき、さらに、新たなビジネスなどを創造することができます。

千葉県は日本の縮図と言われているとおり、デジタル化においても、都市部と地方部で活用条件が異なっており、さらに地域ごとに必要となるデジタル技術やデジタル人材の育成状況も異なっています。そのような中、地域それぞれの課題等の解決に向けて、今回の総合戦略において設定した基本目標ごとにデジタルを活用していきます。



1 デジタルで「働く」を次のステージへ

労働人口が減少する中、デジタル技術によって、地域産業の生産性向上を図るとともに、新たなイノベーションやサービスの創出につなげる。



2 デジタルは「活躍する」を広げる

デジタル技術を活用したテレワークなどの新しい働き方に取り組む企業等が増えているほか、仮想空間でも様々な活動が行われるなど、物理的に離れた地域にも人々の活躍の場を広げる。



3 デジタルが「育み・育つ」を変える

デジタル技術は、教育などの子どもを育む分野でも積極的に活用が図られており、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることで、教育の質の向上を図る。



4 デジタルで「暮らす」を安全で楽しく

デジタル技術を活用することで、社会基盤施設や医療・介護分野などの「暮らす」の安全がさらに向上するとともに、文化芸術などの新たな表現が創出される「楽しみ」等の実現を図る。



千葉らしいライフスタイルのイメージ



City Life

ほどこよく、住みよく、シテイライフ



千葉で謳歌するセカンドライフ



Second Life



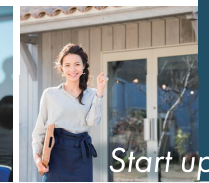
千葉で広がる！趣味に全開ライフ



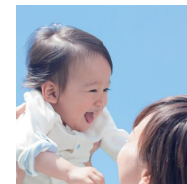
Hobby Life



千葉でチャレンジ！スタートアップライフ



Start up Life



千葉でのびのび子育てライフ



Parenting Life



千葉で育む農業の新たな成功ライフ

Agricultural Life

